

学期	月	時数	題材名	主な学習内容	知識・技能 評価方法：作品、定期テスト	思考・判断・表現 評価方法：作品、定期テスト、ワークシート	主体的に取り組む態度 評価方法：作品、定期テスト
1	4 5	4	自分の内面を模様を託して	ゼンタングルを自分で考えて、構成する	複数の模様を上下も正解も失敗もない状態で構成することで、ゼンタングルとは何かを知り、ペンをつかった技法を使い分ける。	自分の内面と向き合い、内面の有り様を様々な模様を託して表現する。	メソッドにしたがって、自分の内面を表出使用としている。
	5 6	6	木で作る木彫コースター	三角彫りを用いて、木彫コースターを作る (1学期6時間、2学期4時間)	・材料の特性や質感が感情にもたらす効果や造形的な特徴や加工方法を基に材料の良さを全体のイメージとして捉えることができる。 ・三角彫りの技法を身に付け、制作の順序を考えられる。	材料のよさや美しさを基に、材料の特性や効果などとの調和を総合的に考えながら、デザイン計画を立てることができ、歴史のある彫刻の技法から創造的な工夫を凝らすことができる。	・美術の創造的な活動の喜びを味わい、主体的に材料の特性について考えた上で、機能性を考えた構想と作品制作に取り組もうとしている。 ・意欲的に授業に参加し、三角彫りの技法を積極的に覚えようとしている。
	6 7	2	ルネサンスが目指した物	ルネサンス時代の特徴や時代背景、ルネサンス三大巨匠を学ぶ。	ルネサンス時代の特徴や時代背景、ルネサンス三大巨匠を学び、自分で説明できる。	ルネサンス時代特有の表現の良さを感じとり、ほかの時代の表現の違いや共通点について自身の考えをまとめることができる。	作品の良さや美しさを知り、鑑賞活動を通してルネサンス美術の変容や特色に興味を持ち、自ら見方や感じ方を深める学習活動に参加しようとしている。
2	9	5	木で作る木彫コースター	三角彫りを用いて、木彫コースターを作る。	(1学期と同様)	(1学期と同様)	(1学期と同様)
	10	3	浮世絵って面白い	浮世絵について知識を深める。	構図や色彩がもたらす効果や線、彫りや摺りの特徴を基に作品の印象や全体のイメージ、浮世絵の作風などで捉えられる。	浮世絵特有の表現の良さや美しさを感じとり、構図や色彩、線などの特徴や彫り、摺りの技法に着目し、美術文化の継承と創造について考えを深めることができる。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に浮世絵の表現の良さや美しさを感じ取ろうとしている。 ・浮世絵の構図や色彩、線などの特徴や、彫りや摺りの技法に着目し、作品の印象について考えを深める鑑賞の活動荷取り組もうとしている。
	11 12	6	生き物を宿して (計8時間)	アートスクラッチを用いて動物の表現を行う。	・スクラッチの基礎技法を知り、その特性を生かした表現をすることができる。 ・動物の毛の流れを意識した表現を行える。	スクラッチの表現で作品の主題を生み出し、構図の美しさや色彩の配置などの調和を総合的に考えて構想を練れる。	基礎技法を踏まえ、参考作品やクラスメイトの作品から学びを得つつ、自分の作品に生かし、制作活動に取り組もうとしている。
3	1	3					
	1 2 3	6	夕映えシルエット	水彩絵の具を用いて夕映えの景色を描く。	・水彩絵の具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求し、制作の順序などを総合的に考えながら見通しを持って活動できる。 ・7学年の時に学習した水彩絵の具の特徴や道具の使い方を行っている。	もとなる絵の造形的な良さや美しさを感じとり、濃淡やグラデーション効果などを考え、心豊かに表現する構想を練っている。	主題を基に濃淡やグラデーションなどの効果を考え、造形的な表現の構想を自ら行おうとしている。

※色のついた題材は、選択・決定・調整を行う授業です。